

科目名：発達心理学		選必	2 単位 (90 時間)
(Development Psychology)			
履修年次/時期：1 年次 後期		授業形態：講義	
主担当教員：越智誠 （実務経験 臨床心理士 11 年・公認心理師 6 年：学童期から高齢期までにわたる臨床の実務経験から学び、考えたことを、これまでの先達が積み上げてきた学問の蓄積に加え、未来ある学生の方々が、今後により生かせる形で授業を行っていく）。			
担当教員：			
学修目的	人間は誕生から死に至るまで、生涯を通して発達し続ける存在である。発達は、生物学的な資質と環境との関連で多様な現れ方をする。これまでの自分を振り返り、発達し続ける存在であることを学ぶ。さらに、習得した人間観・発達観を土台にして患者さんの心的世界の理解をはかる。 CP1, 4, 5に関連する。S1D16S32		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	①生涯発達心理学の概念について説明できる。 ②各発達段階の課題について説明できる ③発達の多様性を理解する。 ④発達の課題と社会問題との関連を理解する。		
授業概要	受精から死に至るまでの、人間の生涯にわたる心身の機能の成長や変化の過程をみていく。新生児期から老年期にわたる認知の発達、対人関係の発達、パーソナリティの発達など、さまざまな角度から人間の発達をみていく。歯科衛生士としてさまざまな年齢の方々と関わる際に、発達心理学的視点に立って、接することが求められるため、歯科衛生士としてどのようにかわっていけばよいかを検討していく。		
評価方法	授業後のリアクションペーパー（50%）・学期末のレポート（50%） レポートに対するフィードバックは、授業中に行う。		
予習・復習時間	【予習】2 時間 事前に教科書の該当ページを読んでくること。 【復習】2 時間 配布資料や教科書の該当ページを見なおして内容を確認するとともに理解を深める。		
教科書	『発達心理学 15 講』北大路書房		
参考書	授業の際に紹介する。		
オフィスアワー	授業前と授業終了後の各 10 分間 4 号館 2F 非常勤講師室		

連絡先	hattatsu@kdu.ac.jp	不在時はメールをお願いします。
-----	--	-----------------

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (9/10)	生涯発達心理学と発達の多様性—発達心理学の基礎 基礎心理学のひとつである発達心理学における発達時期の分類、2 大課題、研究の変遷、遺伝と環境の関係を学ぶ	予習：教科書第 1 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：生涯発達、レディネス論	講義 ○越智
2 (9/17)	誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達—発達心理学の理論：成長・成熟の過程、発達のプロセスと発達課題 エリクソンのライフサイクル論と批判。人生 100 年時代。	予習：教科書第 2、第 3 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：ライフサイクル	講義 ○越智
3 (10/1)	胎児期・新生児期—胎児期から新生児期まで：個体の発生 新生児期の原始反射、母子結合の大切さ、母子相互の働きかけ、基本的信頼感、新生児の能力としての視覚機能、馴化	予習：教科書第 4 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：環境からの影響	講義 ○越智
4 (10/8)	乳児期—情動・認知発達の基礎：個性の発現 乳児の様々な能力を知る。愛着行動の個人差をストレンジ シチュエーション法に見る。虐待の発生とその要因及び対応を考える。	予習：教科書第 5 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：愛着の形成、SSP	講義 ○越智
5 (10/15)	幼児期前期—認知機能の発達：基本的生活習慣の獲得 知能指数及び偏差知能指数。幼児期の認知の特徴として表象機能と保存の概念、自己中心性の存在。非認知能力の重要性	予習：教科書第 6 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：幼児の自己中心性	講義 ○越智
6 (10/22)	幼児期後期—社会性の発達：集団生活の始まり ことばの発達とともに遊びやコミュニケーションの発達を通じて社会性が発達し、自我が芽生える。社会脳の重要性	予習：教科書第 7 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：心の理論、第一次反抗期	講義 ○越智
7 (10/29)	児童期—対人関係の発達：他者との関わりを通して 小学校にて人格形成と社会性を養う。日本の若者の低い自己肯定感を鑑みる。子どもの貧困について考える。	予習：教科書第 8 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：社会性の発達	講義 ○越智
8 (11/5)	発達障害—乳児期から幼児期に生じる発達に関わる問題 発達障害の定義とその種類。原因についての論争と関心の変遷。環境要因による誘発	予習：教科書第 9 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：自閉スペクトラム症	講義 ○越智
9 (11/12)	青年期①—青年期の特徴と自我同一性の獲得：自分を知ること 最も重要な時期といわれる青年期を心理的特徴を交えて様々な観点からみる。アイデンティティのための恋愛	予習：教科書第 10 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：アイデンティティ	講義 ○越智
10 (11/19)	青年期②—青年期から成人期へ：キャリア発達と社会生活 就労における男女間の差。歯科衛生士の就職事情を知る。女性の就業についての問題点	予習：教科書第 11 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：キャリアの発達	講義 ○越智
11 (11/26)	青年期③—青年期以降のメンタルヘルスと精神保健 青年期の問題行動（反/非社会的行動）。不登校といじめという学校における問題行動。事例にみる青年期の精神病理。	予習：教科書第 12 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：メンタルヘルス	講義 ○越智
12 (12/3)	中年期—中年期の発達と危機 中年期はどんな時期か。成人中期と成熟期。事例を通して成人中期の発達のな問題とケアを学ぶ。数々の映画に中年の生き方をみる。	予習：教科書第 13 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：中年期の危機	講義 ○越智
13 (12/10)	高齢期—エイジングと心理的变化：「若い」への対応 短期間に急速に進んだ日本の高齢化を知る。老年期への移行の	予習：教科書第 14 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り	講義 ○越智

	特徴、老化の過程と自立する高齢者。老年期の精神障害	キーワード：心身の変化と老い	
14 (12/17)	認知症の方への関わり方と家族介護者への理解 ー認知症を理解し、家族介護者を知り、介護を支える 認知症の方と家族介護者へどのように接すればいいのか。	予習：教科書第 14 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：認知症者と家族への対応	講義 ○越智
15 (1/7)	死ー「死」への対応：死に対する態度と準備 エリザベス・ キューブラー・ロスの「死の受容プロセス」。死についての 様々な識者のコメントをみて、死について考える。	予習：教科書第 15 講を読む 復習：配布資料及び教科書の振り返り キーワード：死の受容	講義 ○越智